

善親米日 子ら校の二ミ



— 南東教育事務所 —

「ようこそ、ジュニーさん

よくおいでくださいました」

東白川郡内でも超ミニ校の鮫川村立
青生野小学校では、六月十九日、学校
法人石川高等学校留学中のジュニー・
サールさん（十七歳）とアメリカ、カ
リフォルニア州を招待し、楽しい交
歓の一日を過ごした。

ジュニーさんは、米国の優秀な学生
を留学生として海外に派遣する A・F
・S（アメリカ・フィールド・サービ
ス）から派遣され、今年四月から学法
石川高に学んでいるアメリカ留学生で
ある。この三か月の間に覚えた日本語
で、クラスメートとも、どうにか片言
の日常会話が話せるようになったジュ
ニーさんは、一般学生との勉強のほか
クラブ活動として、生け花や弓道にも
励んでいる。

青生野小学校は、阿武隈山地の南部
に位置し、標高六百三十メートルの高
冷地にある。全校児童三十七名、教職
員六名、山間に点在する九十戸の農家
を学区とする三級へき地の小規模校で
ある。

当校は、村教育委員会の委嘱をうけ
課題研究として「正しく、豊かな語い
力を持つ子供にするための指導は、どう
あればよいか」のテーマに取り組んで
いる。授業の充実を図るため、授業研
究を積み重ねるとともに、児童のへき
地性解消のために、児童の対外的な体
験学習も数多く取り入れている。

また、JRC活動としても、「五」

「三」の日（ゴミの日）には、国道二
八九号線の清掃を行うなど「健康、奉
仕、親善」をあい言葉に、活発な活動
を続けている。

この様な活動の一環として「辺地の
子供たちに、他の国の人と接するチャ
ンスを与えることにより、国際性を養
い、国際親善にも役立てよう」とのね
らいから、学法石川高に申し入れ、こ
の交歓会が実現した。

午前十時、校長の案内で同校に着い
たジュニーさんは、日米両国の国旗と
全校児童のあたたかい拍手に迎えられ
にこやかに校門をくぐった。

子供たちは初めてみる「青い目」の
お姉さんにびっくり。

「目が青くて、お人形さんみたい」



アメリカでも給食ってあるの？

「金髪ってきれい」

と百七十センチに近い長身のジュニー
さんに、一様に驚きの表情を示した。

校庭で開かれた歓迎集会では「こん
には、ジュニー・サールです。ど
うぞよろしく」と、片言の日本語で
あいさつされ、さっそく二、三年生と
一緒に机を並べて書写の勉強に取り組
み、日本の「日」の字に挑戦した。続
いて五、六年生と図工（切り絵）の授
業を受けた。ナイフのさばきもあざや
かに「姉さま人形」を上手に作り上げ
児童とともに大喜びだった。

全校児童とともに学校給食を囲んで
からのお楽しみ会、一年生と手をとり
あって、一緒に歌ったり、踊ったりの
楽しいひとときを過ごした。

お別れにあたり折り鶴が児童より、
授業で使用した習字用具一式が校長よ
り記念としてプレゼントされた。更に
先生がたからは、この日の親善を記念
して白河だるまがおくられた。「無事
に留学生生活を終え、帰国したとき、も
う一方の目を入れてください」との言
葉に大きくうなずいていた。

児童一人一人と握手をかわし、車で
青生野小学校をあとにしたジュニーさ
んを、手を振りながら追いかける山の
子らの姿に、目にいっぱい涙をため、
「かわいい子供たちと一緒に勉強でき
て楽しかった」「この日のことは決して
忘れません。いいおみやげができた
ました」と異国での貴重な体験を心から
喜んでいました。